

千葉大学医学部附属病院で妊娠糖尿病と診断され 治療された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年4月14日

産科・婦人科

産科・婦人科では、妊娠糖尿病に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2016年1月1日～2024年12月31日の間に産科に妊娠糖尿病と診断され治療を受けた方

1. 研究課題名

「妊娠糖尿病の管理および分娩後の血糖管理についての検討」

2. 研究期間

2025年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

妊娠糖尿病とは、妊娠中に血糖値が高くなってしまいう病気で、日本人の妊婦さんの10%に発症すると言われていています。妊娠中の血糖コントロールが悪いと、早産や妊娠高血圧症候群(妊娠中に血圧が高くなる)、難産、胎児死亡(生まれる前にお腹のなかで赤ちゃんが亡くなってしまふ)、巨大児、赤ちゃんの生まれた後の呼吸障害や低血糖などのリスクが上昇します。そのため、妊娠中には厳格な血糖コントロールが必要となります。また、妊娠糖尿病と診断された女性は、将来の2型糖尿病やメタボリック症候群などの生活習慣病の発症リスクが高まるとも言われ、産後も年1回の血糖検査を行うことなどのフォローが推奨されています。

当院で管理した妊娠糖尿病患者さんの臨床経過や産後の経過を解析することで、妊娠中の血糖コントロールや産後のフォローに役立てられると考えます。

利用する情報は患者さんの診療録から 2025 年 12 月 31 日までの診療情報を収集し解析を行います。研究成果は、学会・論文等で発表します。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている診療情報、体重、過去の妊娠分娩について、血液検査値、分娩時情報(お子さんの体重や合併症、NICU 入院の有無)などについて調べます。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：産科・婦人科 教授 甲賀かをり

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院産科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

(※研究成果の発表後以外に参加拒否の申し出に対応できないケースがあれば、その旨も記載してください) 情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

産科・婦人科 医員 廣岡千草

043(222)7171 内線 5314